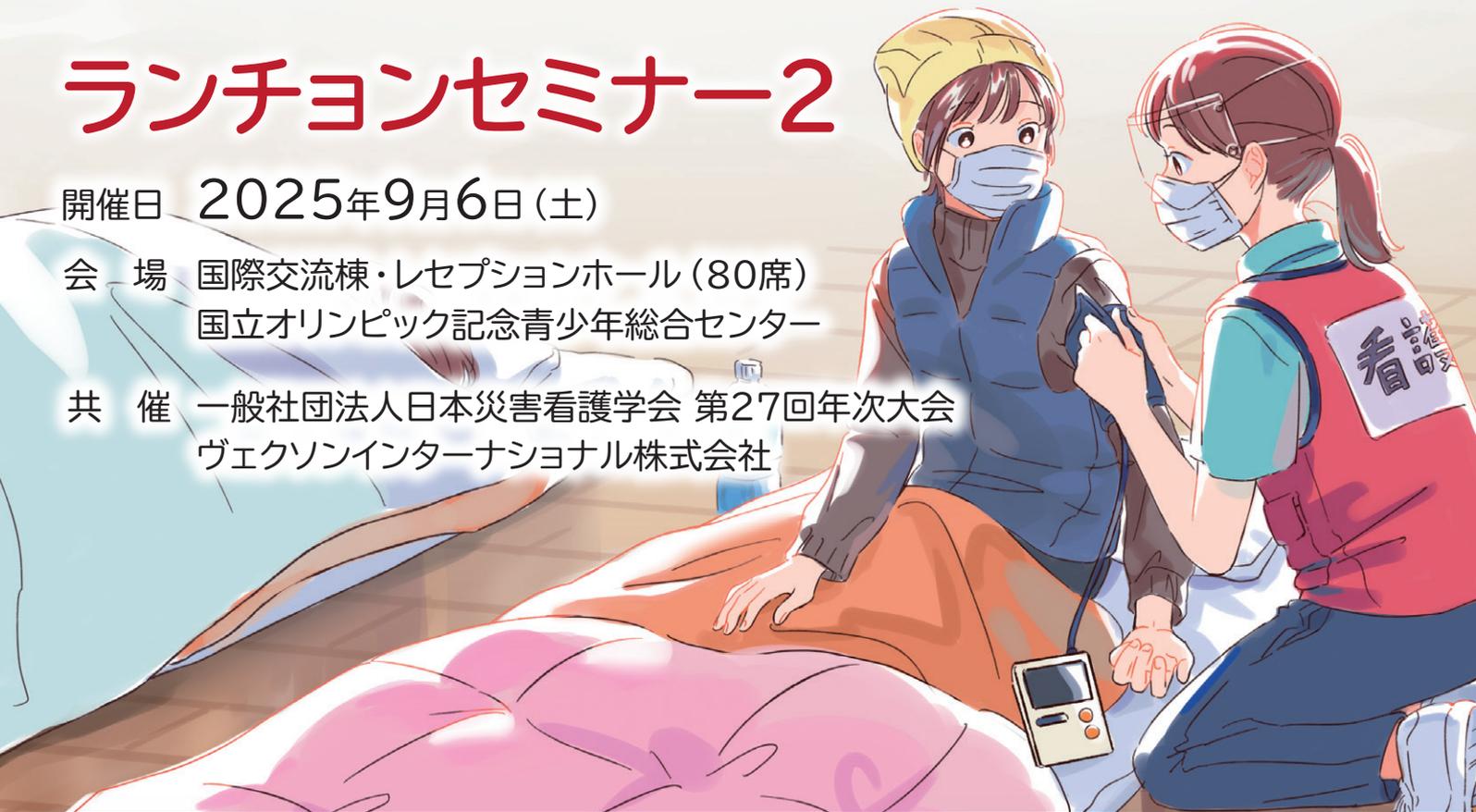


ランチオンセミナー2

開催日 2025年9月6日(土)

会場 国際交流棟・レセプションホール(80席)
国立オリンピック記念青少年総合センター

共催 一般社団法人日本災害看護学会 第27回年次大会
ヴェクソンインターナショナル株式会社



セミナーテーマ

災害対策とBCPの院内教育が必要だ ～起こり得る局地災害に向けて～

座長

かみかわ ともひこ

上川 智彦 氏

株式会社Vitaars メディカル・営業部

演者

やくしじ ひろまさ

薬師寺 泰匡 氏

薬師寺慈恵病院院長



医療機関では、火災や感染症の流行などの局地的な災害が病院機能を著しく低下させ、医療提供の継続を困難にする。特に、院内の対応能力が制限される事態では、迅速な判断と適切な事業継続計画(BCP)が不可欠である。

当院では2021年5月、人口約7万人の地域にある64床の小病院で院内クラスターを経験。患者27名、職員にも感染者が発生し、約1ヶ月にわたり病院機能維持に奔走した。COVID-19の流行で多くの病院が制約を受けたが、特に院内クラスター発生時は需給バランスが一瞬で崩れる災害的状況となった。

地震や洪水のように地域全体が機能不全に陥るものではないが、局地的な災害では病院単独での対応が求められ、機能維持の難しさを痛感した。では、どのような備えが必要で、何を優先すべきか。本講演では、当院の経験を踏まえながら病院機能維持の視点から院内体制の強化に向けた取り組みを紹介する。

